



脱炭素社会の実現に向けた取り組み

カーボンフリー電力およびEVバイクの導入について



京都フィナンシャルグループ（代表取締役社長 土井 伸宏）は、脱炭素社会の実現をサステナビリティ経営における重要なテーマの一つとしております。今般、具体的な取り組みとして、2月から、京都銀行本店をはじめ本部拠点で使用する電力を京都府産カーボンフリー電力へ切り替えるとともに、営業車両の一部にEVバイク（電動バイク）を導入しましたのでお知らせいたします。

当社グループは、今後も持続可能な社会の実現に向けた取り組みを通じ、地域社会に貢献してまいります。

記

1. カーボンフリー電力の導入について

(1) 目的

京都府内で発電された再生可能エネルギー由来のカーボンフリー電力を使用することにより、電力使用に起因するCO₂排出量の削減とエネルギーの地産地消に取り組みます。

(2) 導入拠点

京都銀行本店・本店東館・上鳥羽センター・吉祥院センター・金融大学校 桂川キャンパス

(3) CO₂排出量削減効果（見込）

年間約2,000t（2022年度の当社グループCO₂排出量の26%相当）
※関西電力の2021年度調整後排出係数により算出

(4) 使用電力

ア. プラン

関西電力株式会社の「再エネECOプラン（トラッキング付帯）」を活用

イ. 電源

京都府内の太陽光発電（運転開始15年以内のFIT電源）由来の電力

<ご参考1>当社グループのCO₂排出量削減目標と削減状況

対象	当社グループが使用する電気・ガス・ガソリンにより排出されるCO ₂ （Scope 1、2に相当）
目標	2030年度までに2013年度対比50%削減
実績	▲45.2%（2022年度）

<ご参考2>再エネECOプラン（トラッキング付帯）

再生可能エネルギー由来の非化石証書に再エネ電源のトラッキング情報を付加することで、電力使用によるCO₂排出量が実質ゼロとなる電力プラン。

2. EVバイクの導入

(1) 目的

営業活動用のガソリン二輪車の一部を、EVバイクに切り替えることで、営業活動に起因するCO₂排出量の削減に取り組みます。

(2) 導入台数

50台

※今後、追加導入を検討してまいります。

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

